

選択したシラバスのプレビュー画面です

平成29 年度 

講義科目名称 : **考古学資料論**
英文科目名称 : ---

授業コード : **31027**

開講期間	授業形態	単位数	科目必選区分
後期	講義	2単位	
曜日時限			
後期: 水曜1限			
配当学科・学年			
歴史2			
担当教員			
犬木 努			
歴DP3			

授業テーマ	考古学の方法論および考古遺物の製作技術について
講義概要	①考古学の方法論について学ぶ。 ②さまざまな考古遺物について、材質別に製作技術、変遷観・年代・使用法・分布・歴史的意義などについて概観する。
到達目標	①考古学の方法論に関わる基礎概念について習得する。 ②さまざまな考古遺物について、材質別に製作技術の特徴について習得する。
評価方法・フィードバックの方法	・評価は、平常点（20%）、レポート（10%）、学年末に行う筆記試験（70%）によって行う。 ・質問に対しては、次回の授業時に全体に向けて回答・説明し、必要に応じて質問者に個別に回答・説明する。
評価基準	①考古学の方法論に関わる基礎概念について正確に説明することができる（秀・優）。考古学の方法論に関わる基礎概念について概ね説明することができる（可）。 ②さまざまな考古遺物について、材質別に製作技術の特徴について正確に説明することができる（秀・優）。さまざまな考古遺物について、材質別に製作技術の特徴について概ね説明することができる（可）。
テキスト	使用しない。講義中にプリントを配布する。
参考書	講義中に適宜指示する。
履修上の注意	私語など授業態度の悪い学生は、教室の外に出てもらふことがある。
準備学習<予習・復習の時間・内容>	・2単位の修得には、合計60時間の事前・事後学習が必要です。30時間の事前学習（予習）と30時間の事後学習（復習）を目安に学習に取り組んでください。 ・予習：あらかじめ指示された課題について資料を集集する。 ・復習：授業時に学習した内容について再確認する。
オフィスアワー等	質問は授業終了後に受け付ける。
備考・メッセージ	特になし。

授業計画					
回数	授業形態	担当教員	授業内容	到達目標	
第1回	講義	犬木 努	考古資料についての基本知識	当該内容について適切に理解できる。	
第2回	講義	犬木 努	型式論とはなにか？（1）	当該内容について適切に理解できる。	
第3回	講義	犬木 努	型式論とはなにか？（2）	当該内容について適切に理解できる。	
第4回	講義	犬木 努	層位論とはなにか？（1）	当該内容について適切に理解できる。	
第5回	講義	犬木 努	層位論とはなにか？（2）	当該内容について適切に理解できる。	
第6回	講義	犬木 努	土器の製作技術（1）	当該内容について適切に理解できる。	
第7回	講義	犬木 努	土器の製作技術（2）	当該内容について適切に理解できる。	
第8回	講義	犬木 努	青銅器の製作技術（1）	当該内容について適切に理解できる。	
第9回	講義	犬木 努	青銅器の製作技術（2）	当該内容について適切に理解できる。	
第10回	講義	犬木 努	鉄器の製作技術	当該内容について適切に理解できる。	
	講義	犬木 努	石器の製作技術	当該内容について適切に理解できる。	

第 11 回						
第 12 回	講義	犬木 努	石製品の製作技術	当該内容について適切に理解できる。		
第 13 回	講義	犬木 努	石製模造品の製作技術	当該内容について適切に理解できる。		
第 14 回	講義	犬木 努	瓦の製作技術	当該内容について適切に理解できる。		
第 15 回	講義	犬木 努	まとめ	本授業の内容について総合的に理解できる。		

授業方法					
	学習方法	場所	教員数(補助者数)	教科書以外の教材など	時間(分)
	講義	教室	1	視聴覚教材および配布資料を使用	90分×15回

閉じる